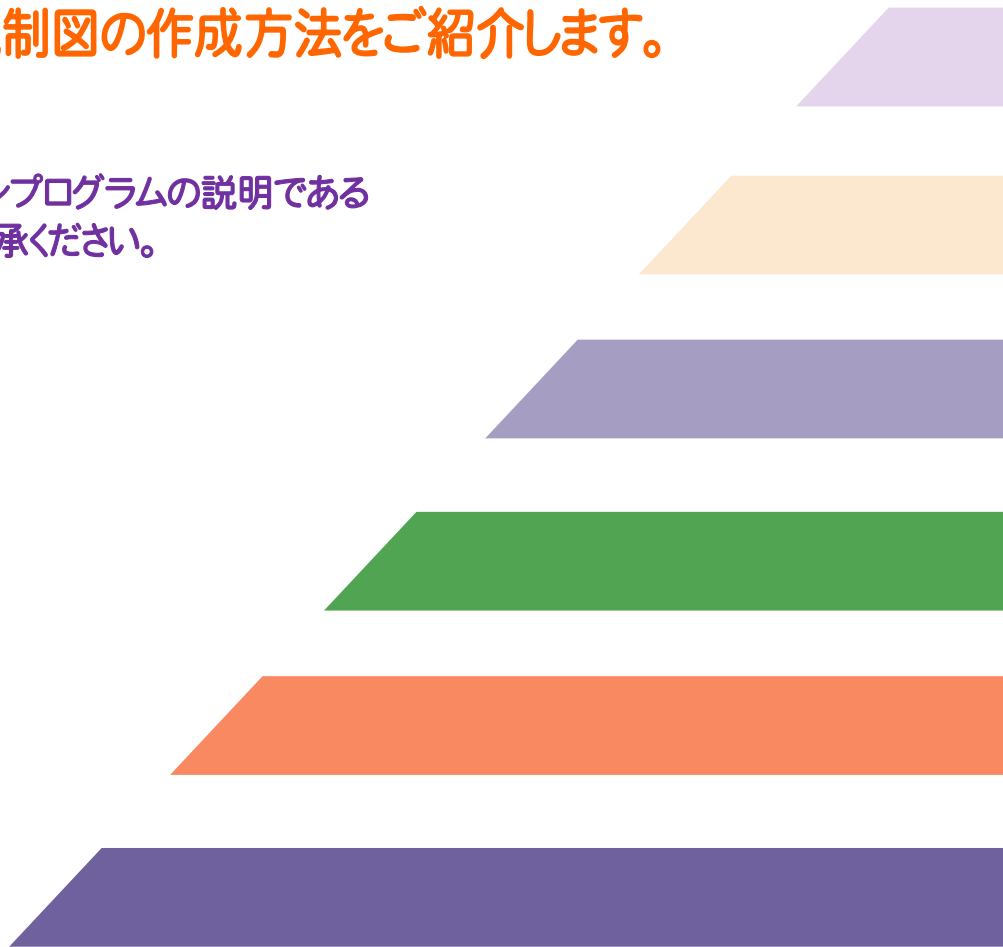


道路規制図の作成

本書では、道路規制図の作成方法をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



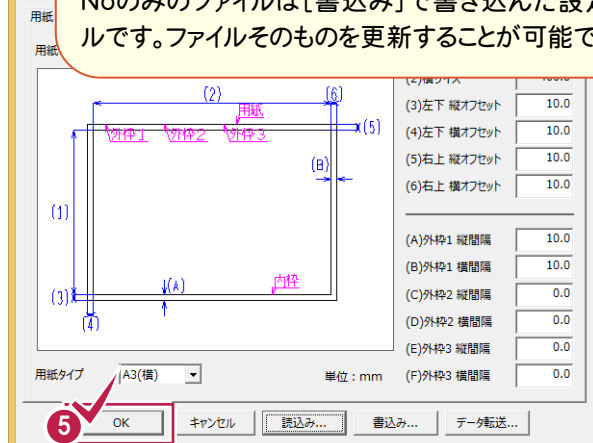
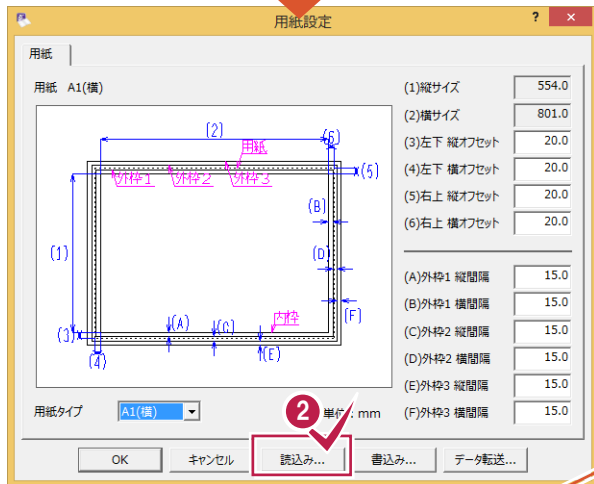
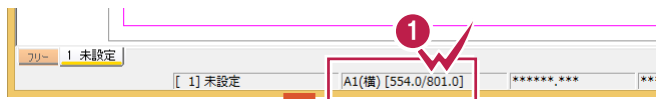
道路規制図の作成

1. 用紙を設定する	1
2. 縮尺を設定する	1
3. 入力単位を設定する	2
4. 線を入力する	2
5. 道路の隅切りを入力する	4
6. 施工箇所を入力する	5
7. 寸法線を入力する	7
8. 文字を入力する	9
9. 引き出し線を入力する	10
10. 重機を入力する	11
11. 方位を入力する	13
12. 表を作成する	14
13. 図面を保存する	16
14. 図面を印刷する	16

1

用紙を設定する

用紙を設定します。ここでは「A3(横)」に設定します。



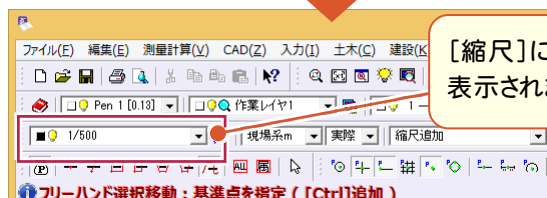
- 1 画面下に表示されている用紙サイズをダブルクリックします。
- 2 [読み込み]をクリックします。
- 3 「3 A3(横)」をクリックします。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。

読み込む設定ファイルには2種類あります。
No.1に🔒が付いている設定ファイルはインストールで組み込まれる設定ファイルです。ファイルそのものを更新することはできません。
No.2のみのファイルは[書込み]で書き込んだ設定ファイルです。ファイルそのものを更新することが可能です。

2

縮尺を設定する

縮尺を設定します。ここでは「1/500」を設定します。



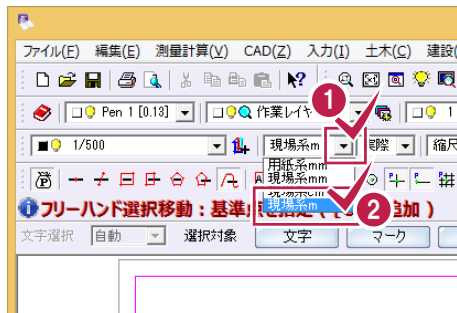
- 1 [設定:縮尺追加]のアイコンをクリックします。
- 2 [縦縮尺][横縮尺]に「500」と入力します。
- 3 [OK]をクリックします。

[縮尺]に追加した縮尺が表示されます。

3

入力単位を設定する

入力単位を設定します。ここでは「現場系m」に設定します。



1 2

[入力単位]の[▼]をクリックして「現場系m」を選択します。



入力単位

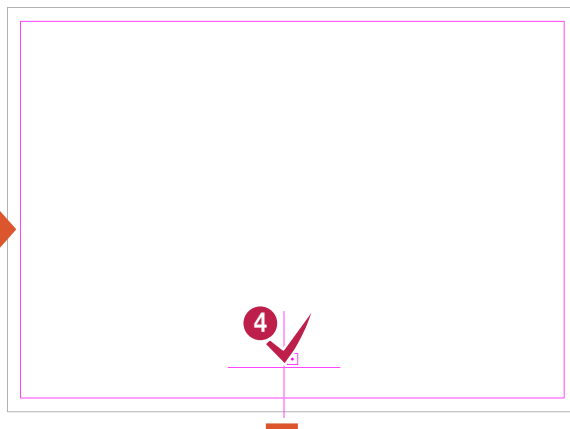
用紙系 mm 縮尺を考慮しない(1/1)値で入力します。
現場系 mm 縮尺を考慮した mm 単位の値で入力します。
現場系 cm 縮尺を考慮した cm 単位の値で入力します。
現場系 m 縮尺を考慮した m 単位の値で入力します。

[設定]－[丸め設定]コマンドで、mm単位、m単位それぞれの丸め設定を読み込むことができます。

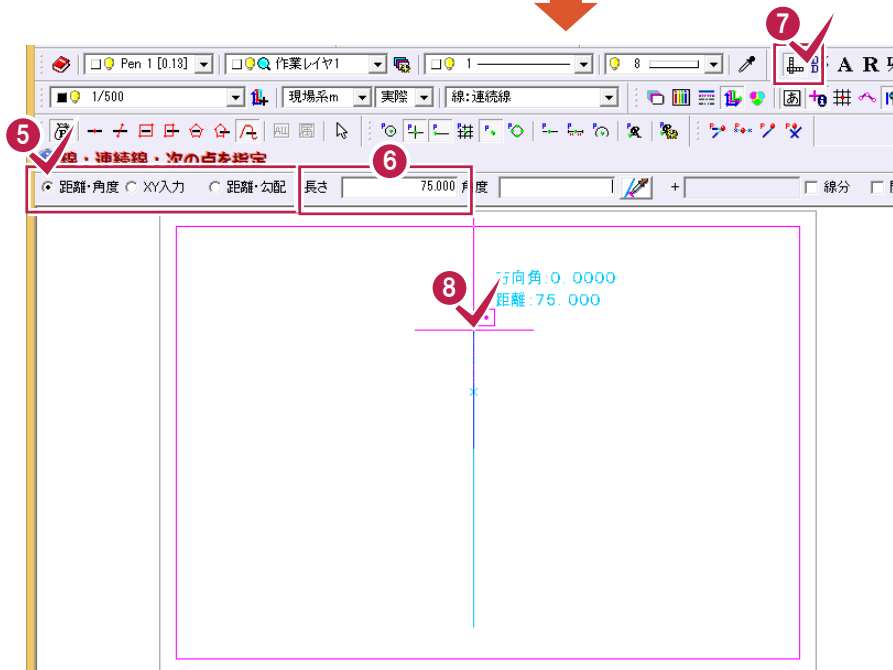
4

線を入力する

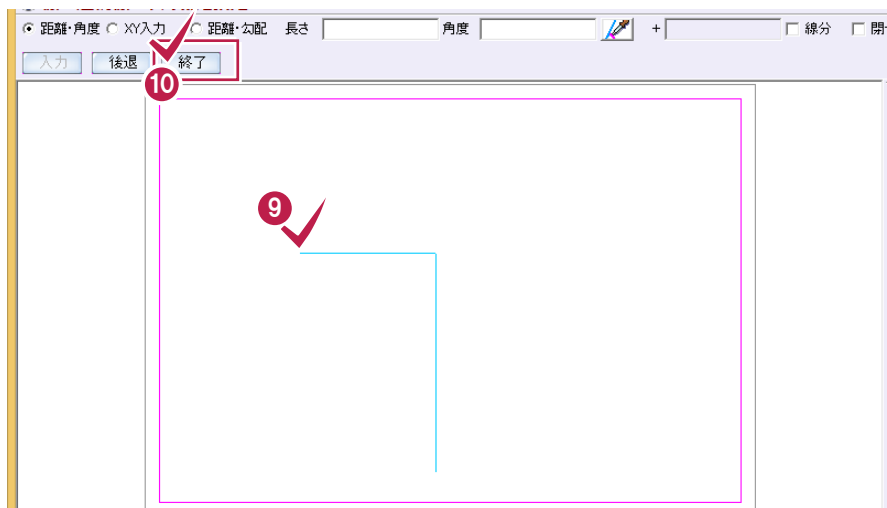
[汎用]－[線]－[連続線]コマンド、[汎用]－[平行線]コマンドを使用して、線を入力します。



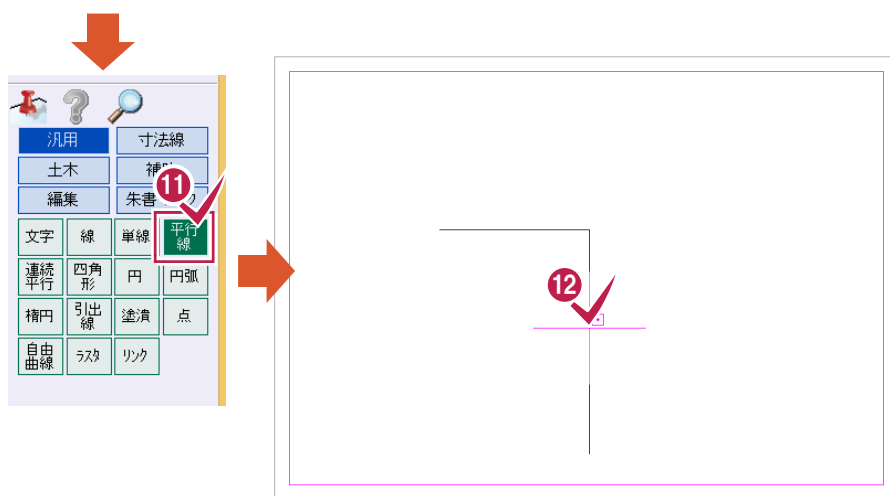
- 1 [汎用]をクリックします。
- 2 [線]をクリックします。
- 3 [連続線]をクリックします。
- 4 線の開始点をクリックします。



- 5 [距離・角度]をクリックします。
- 6 [長さ]に「75」と入力します。
- 7 入力例では、まっすぐな線を入力するので、[設定：入力モード：ドラフタ]のアイコンをオンにします。
- 8 次の点をクリックします。



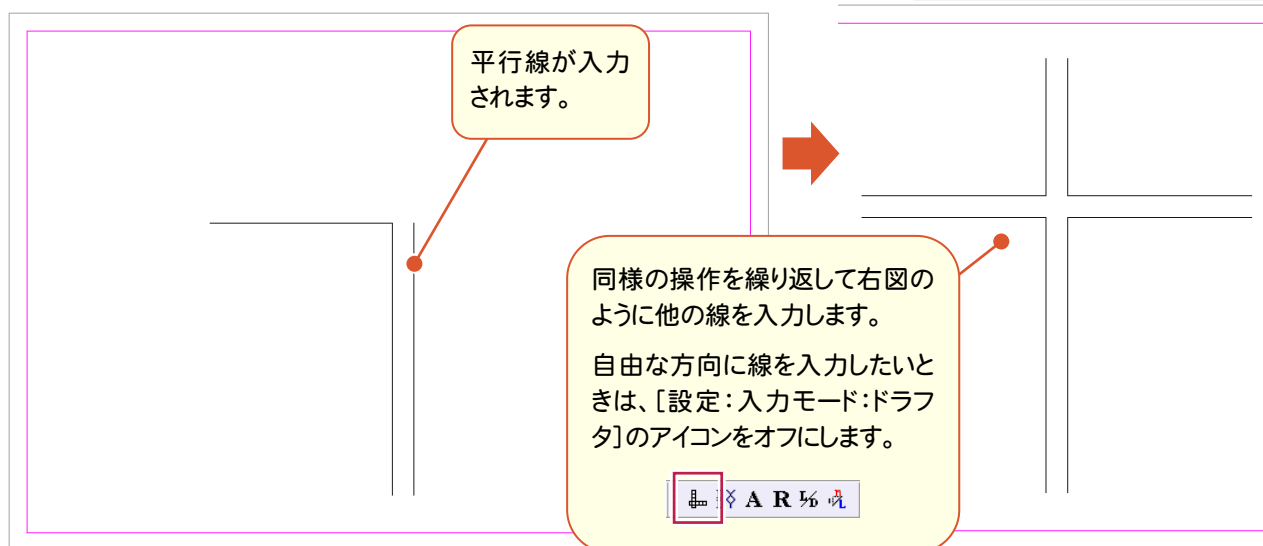
- 9 続けて、次の点をクリックします。
- 10 線の入力を終了したら、[終了]をクリックします。



- 11 [平行線]をクリックします。
- 12 基準となる線をクリックします。

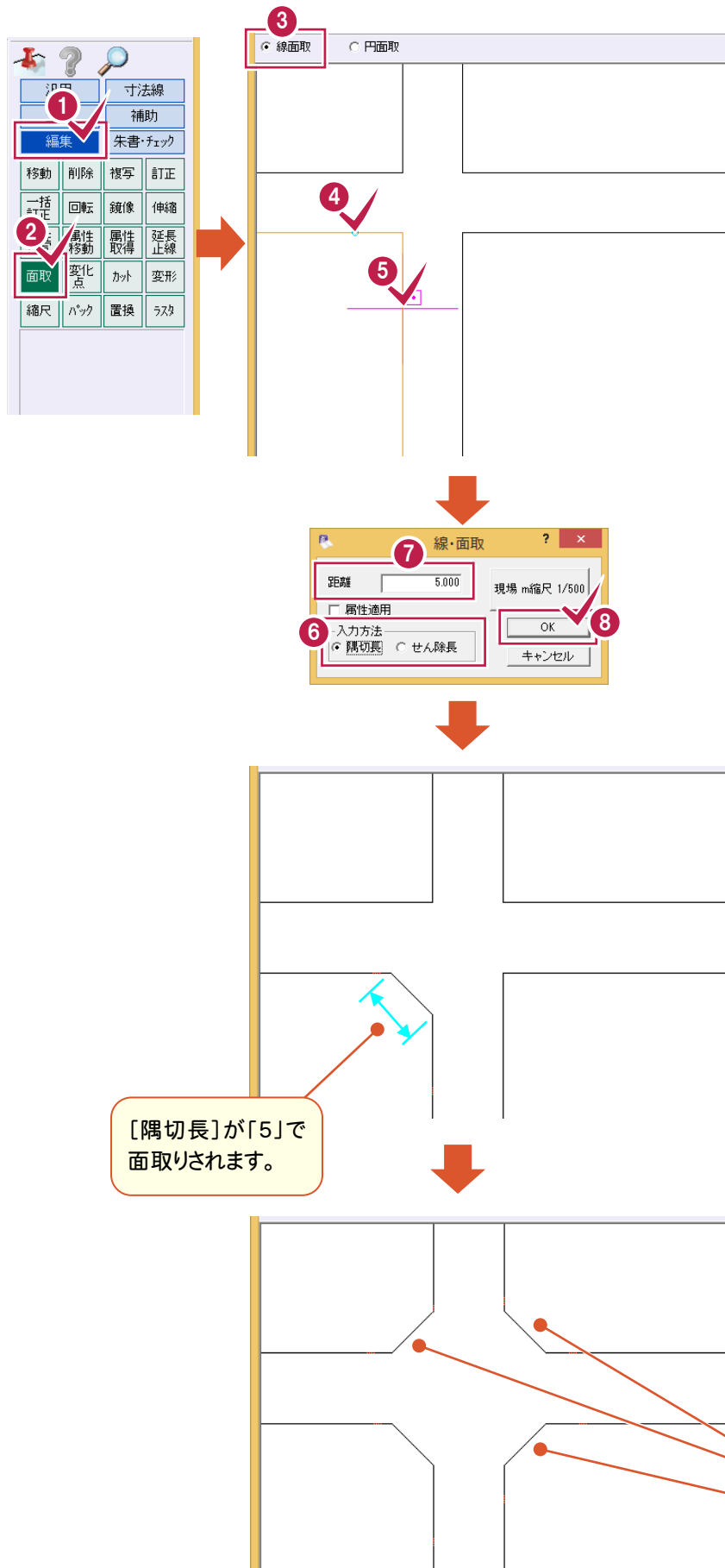


- 13 [単独入力]を指定します。
- 14 [方向]を指定します。
- 15 [移動量]を指定します。
- 16 [入力]をクリックします。
- 17 [終了]をクリックします。



5 道路の隅切りを入力する

[編集]－[面取]コマンドを使用して、道路の隅切りを入力します。



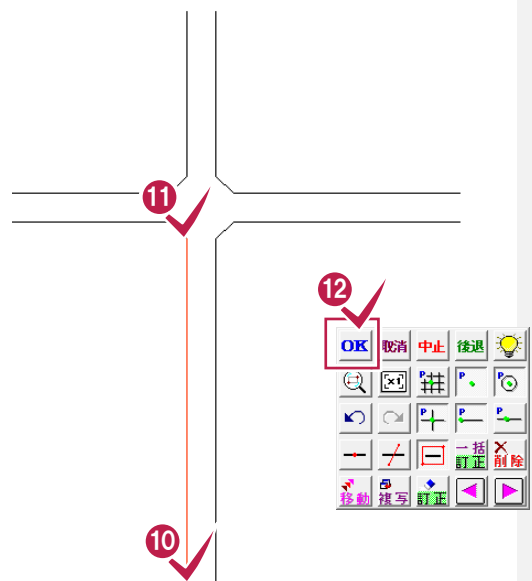
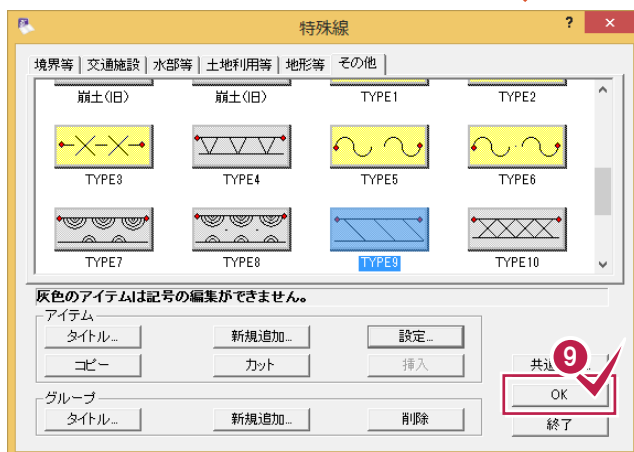
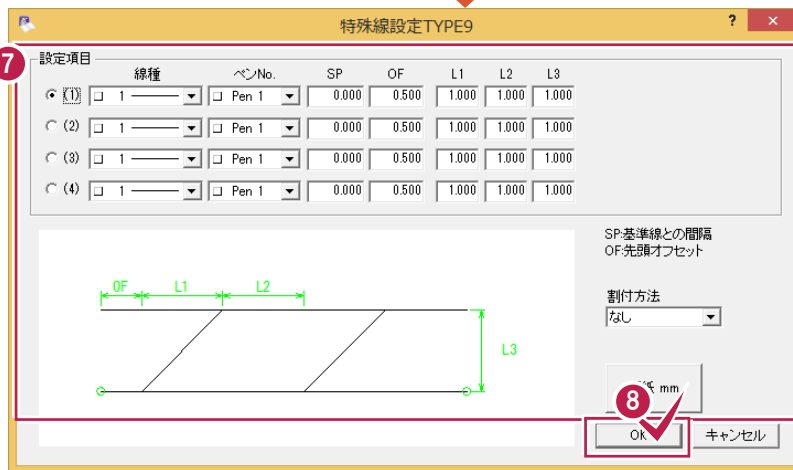
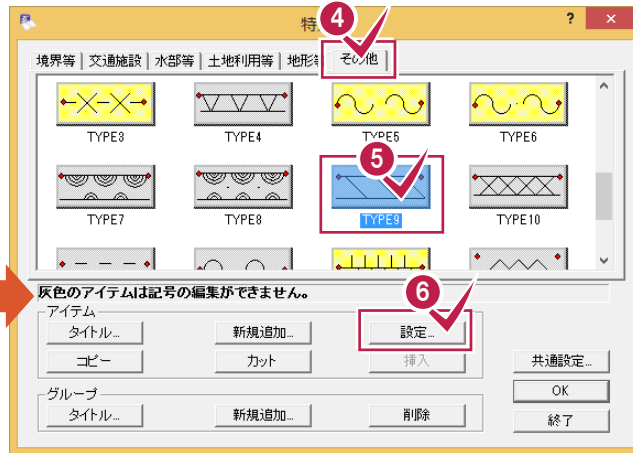
- 1 [編集]をクリックします。
- 2 [面取]をクリックします。
- 3 [線面取]が選択されていることを確認します。
- 4
- 5
面取りしたい2つの辺をクリックします。
- 6 [隅切長]が選択されていることを確認します。
- 7 [距離]に「5」と入力します。
- 8 [OK]をクリックします。

同様の操作を繰り返して、
下図のように他の3箇所を
面取りします。

6

施工箇所を入力する

〔土木〕－〔特殊図形〕－〔特殊線〕コマンドを使用して、施工箇所を入力します。

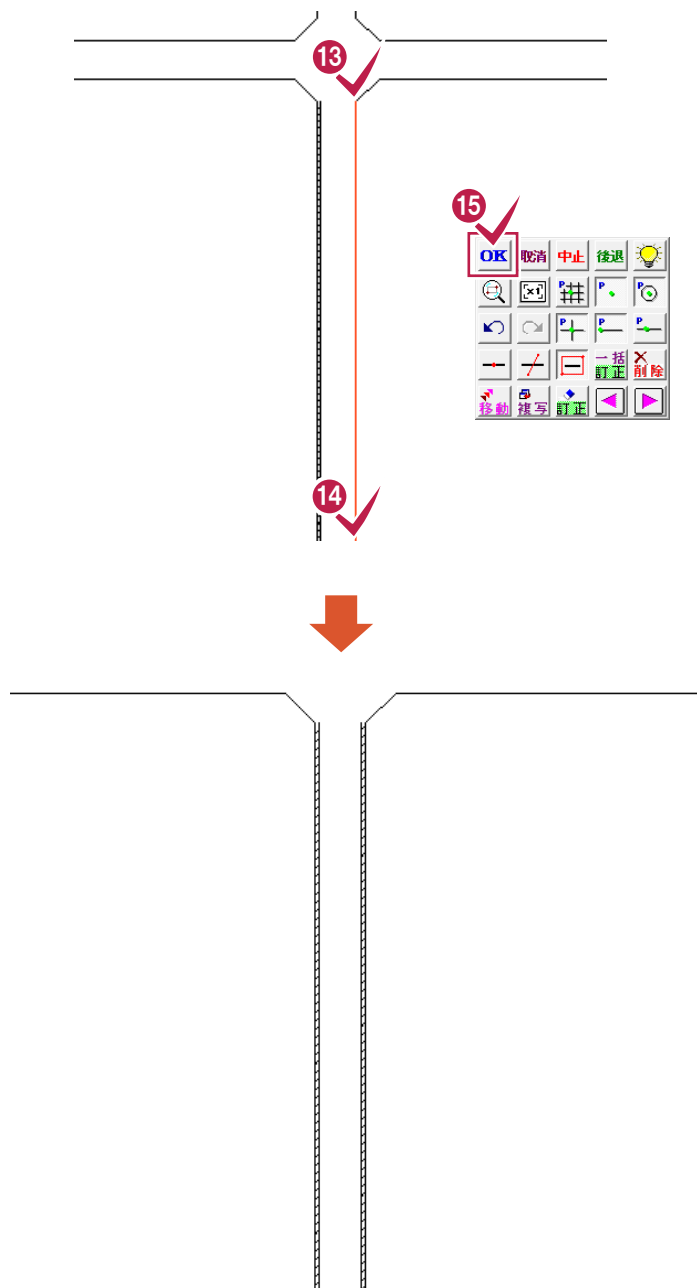


- 1 [土木]をクリックします。
- 2 [特殊図形]をクリックします。
- 3 [特殊線]をクリックします。
- 4 [その他]をクリックします。
- 5 「TYPE9」を選択します。
- 6 [設定]をクリックします。

- 7 特殊線の線種、ペンNo、間隔などを設定します。
- 8 [OK]をクリックします。
- 9 [OK]をクリックします。

- 10 11 施工箇所の範囲を指定します。

- 12 指定を終了したら、右クリックして、[OK]をクリックします。

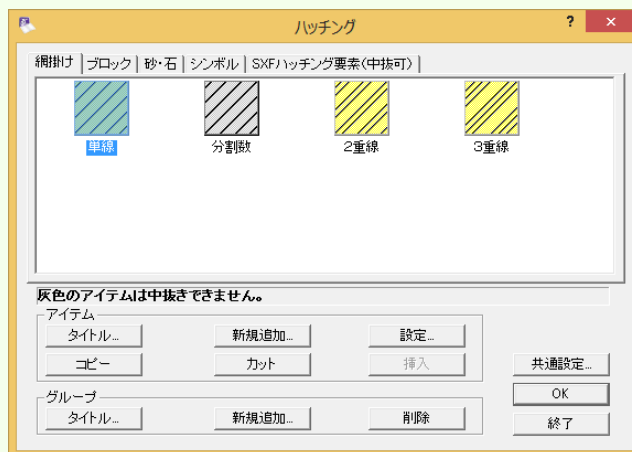


13 14 15

同様の操作を繰り返して、道路の反対側に施工箇所を入力します。



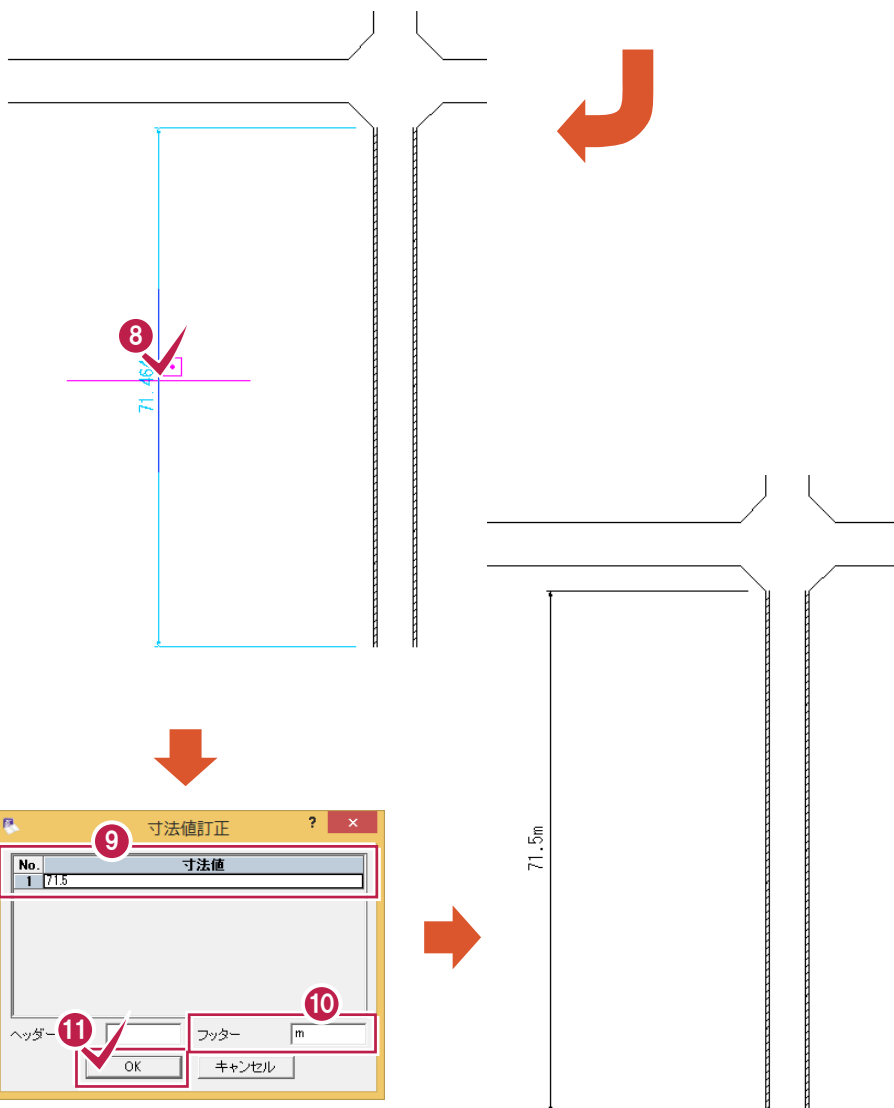
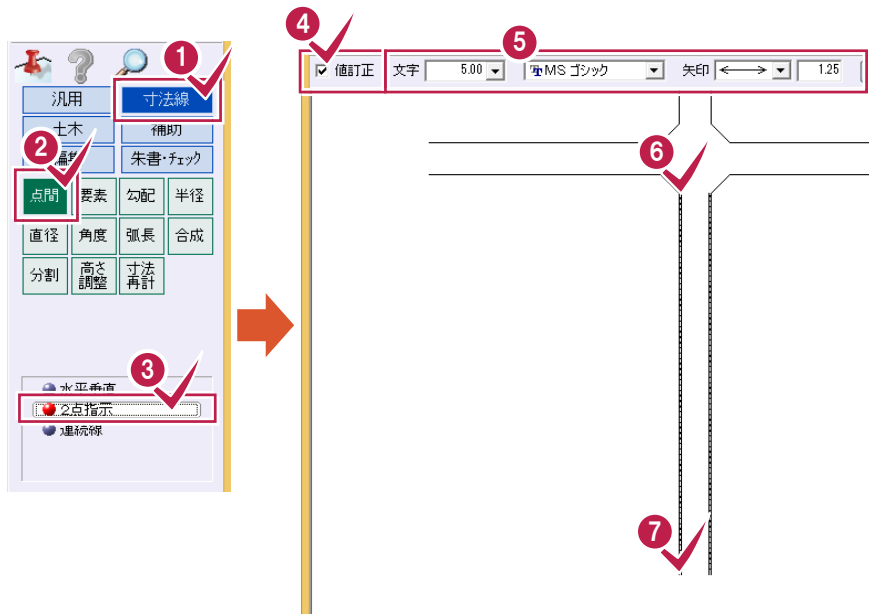
もちろん、[土木]—[ハッチング]コマンドを使用して入力することもできます。



7

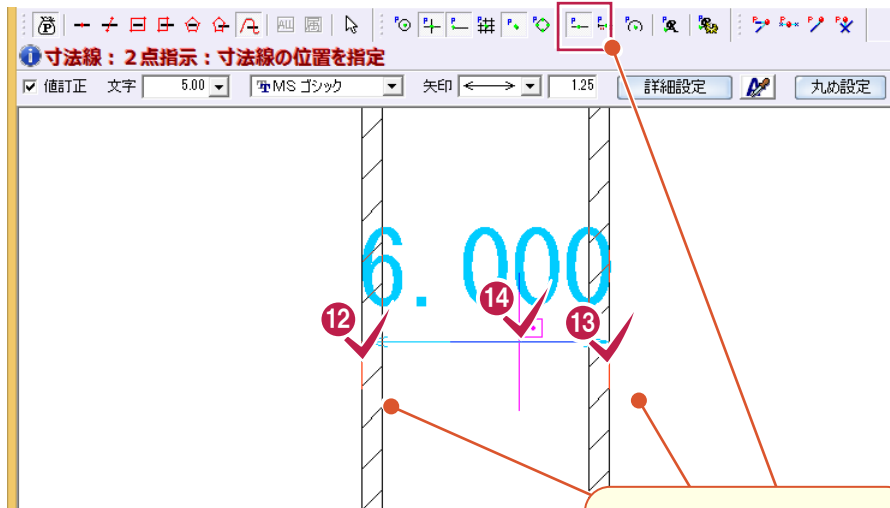
寸法線を入力する

[寸法線]—[点間]—[2点指示]コマンドを使用して、寸法線を入力します。

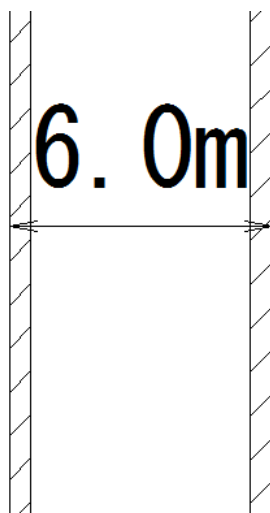
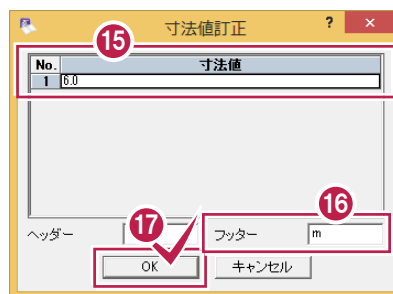


- 1 [寸法線]をクリックします。
- 2 [点間]をクリックします。
- 3 [2点指示]をクリックします。
- 4 インプットバーの[値訂正]のチェックをオンにします。
- 5 寸法値の大きさや矢印などを設定します。
- 6 7 寸法を出す2点(入力例では、施工箇所の開始点と終了点)をクリックします。
- 8 寸法線の配置位置をクリックします。

- 9 [寸法値]に「71.5」と入力します。
- 10 [フッター]に「m」と入力します。
- 11 [OK]をクリックします。



[ピック:線上]のアイコンを
オンにして、道路線の2点
を指定します。



12 13 14

続けて道路の寸法を入力します。道路線を指定して、配置位置をクリックします。

15 [寸法値]に「6.0」と入力します。

16 [フッター]に「m」と入力します。

17 [OK]をクリックします。

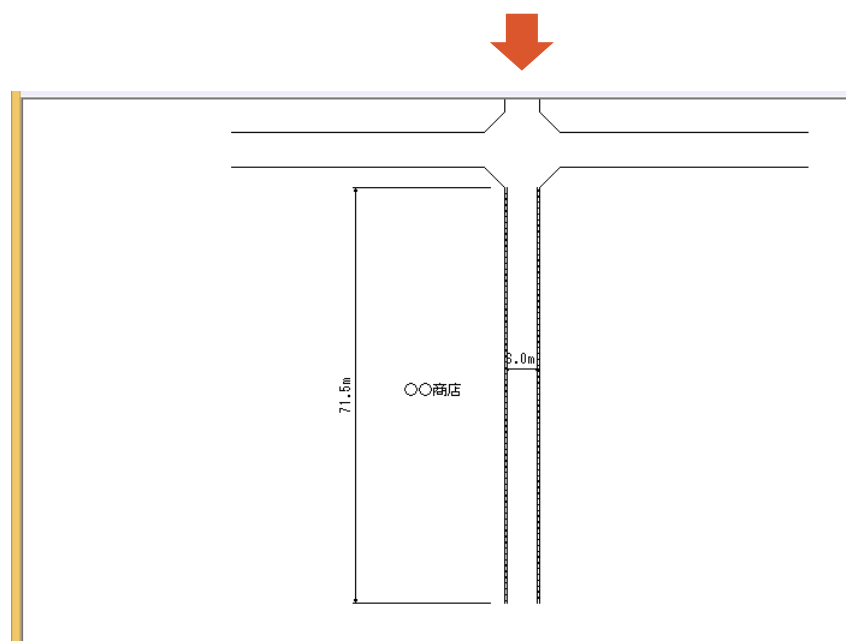
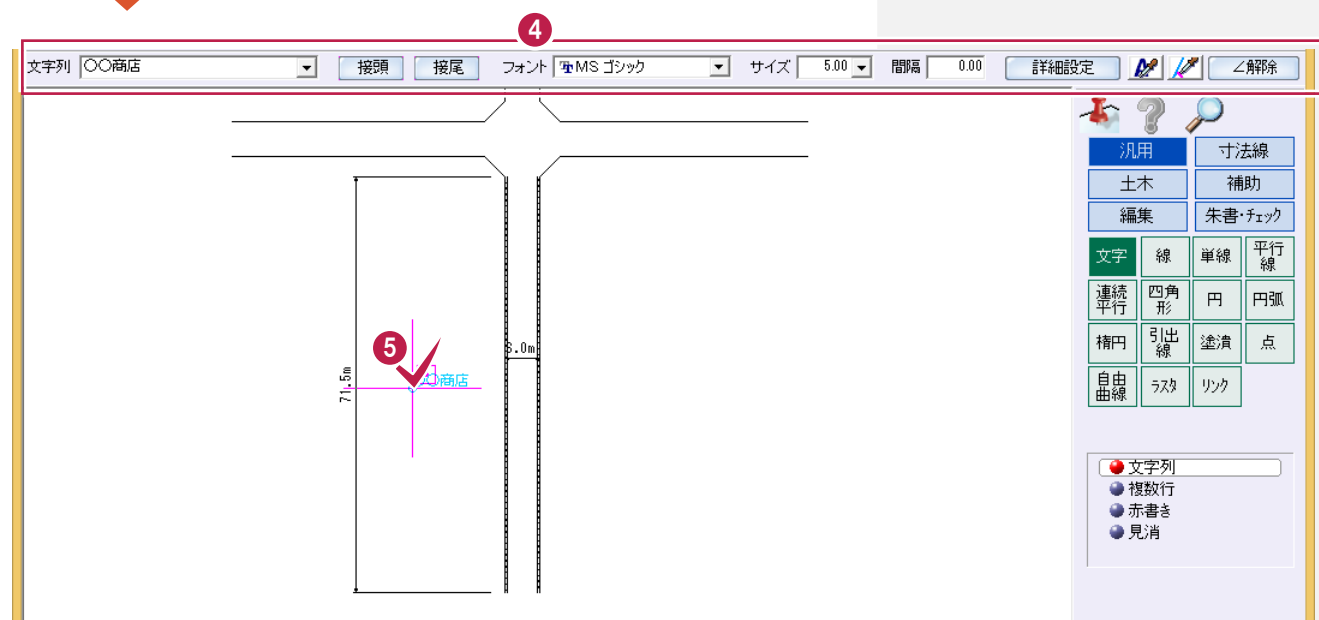
8

文字を入力する

[汎用]－[文字]－[文字列]コマンドを使用して、文字を入力します。



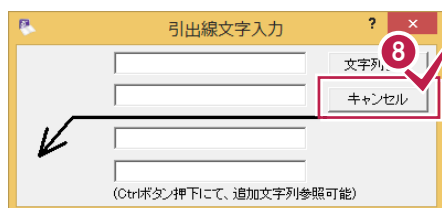
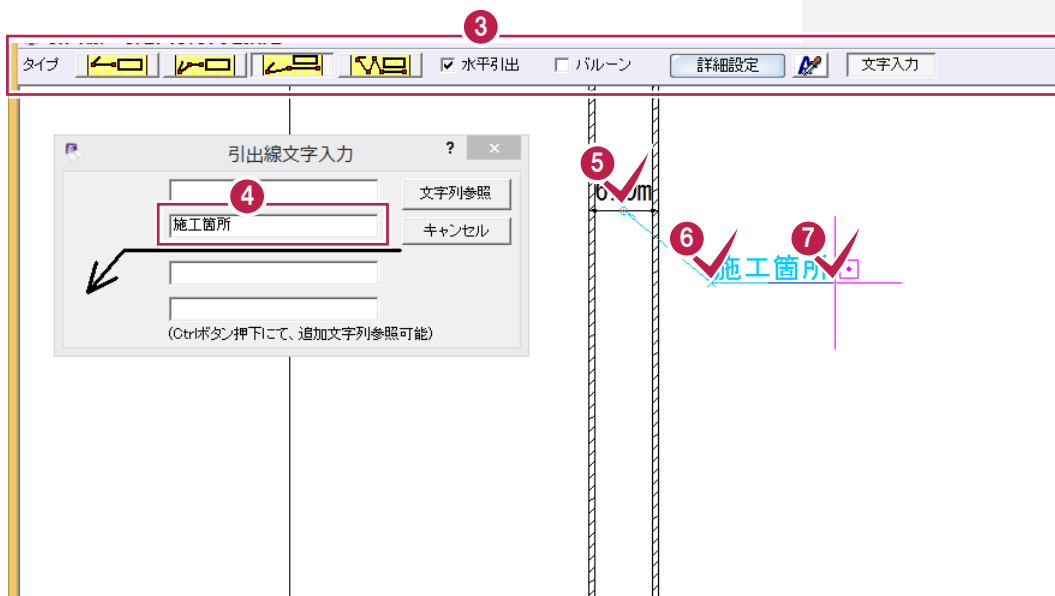
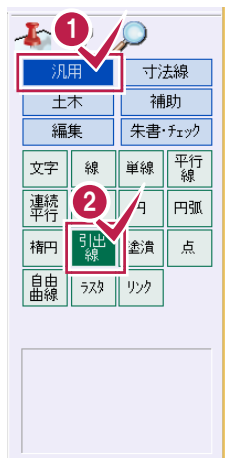
- 1 [汎用]をクリックします。
- 2 [文字]をクリックします。
- 3 [文字列]をクリックします。
- 4 インプットバーの[文字列]に「〇〇商店」と入力して、フォント、サイズなどを設定します。
- 5 文字列の配置位置をクリックします。



9

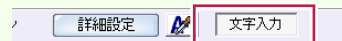
引き出し線を入力する

[汎用]ー[引出線]コマンドを使用して、引き出し線を入力します。



- 1 [汎用]をクリックします。
- 2 [引出線]をクリックします。
- 3 タイプなどを設定します。
- 4 引き出し線の文字列を入力します。
- 5 6 7 引き出し線の始点、折れ点、終点をクリックします。

メモ [引出線文字入力]ダイアログが表示されない場合は、インプットバーの[文字入力]をクリックしてオンにしてください。

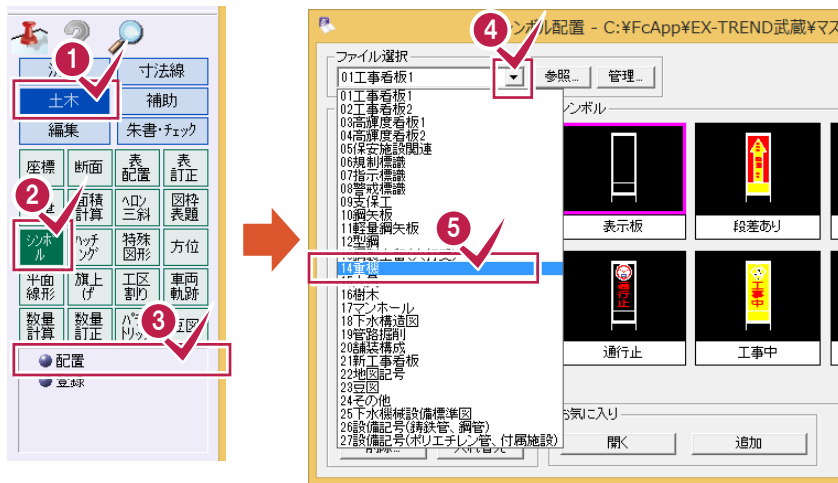


- 8 [キャンセル]をクリックします。

10

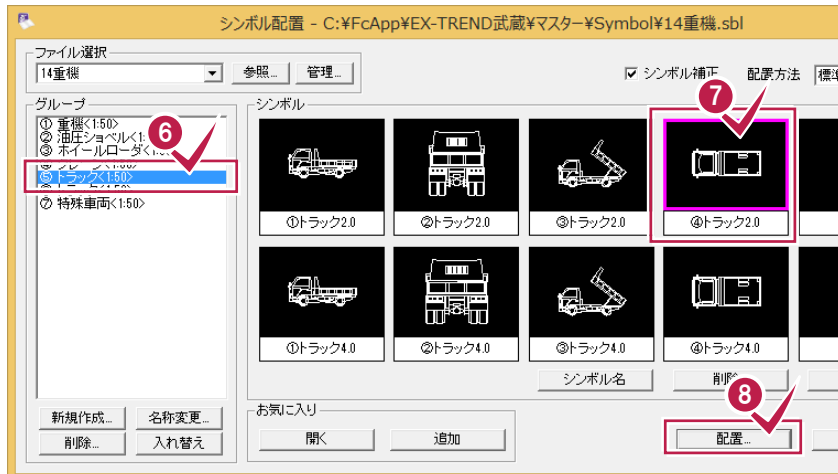
重機を入力する

〔土木〕－〔シンボル〕－〔配置〕コマンドを使用して、重機を入力します。

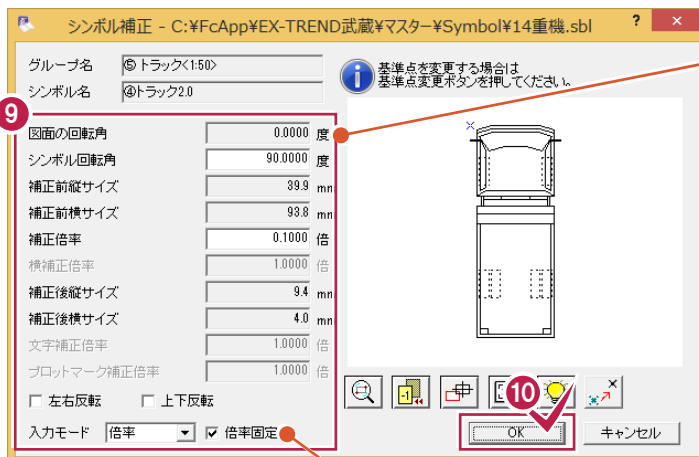


- 1 〔土木〕をクリックします。
- 2 〔シンボル〕をクリックします。
- 3 〔配置〕をクリックします。
- 4 5

〔ファイル選択〕の横の[▼]をクリックして、「14重機」をクリックします。



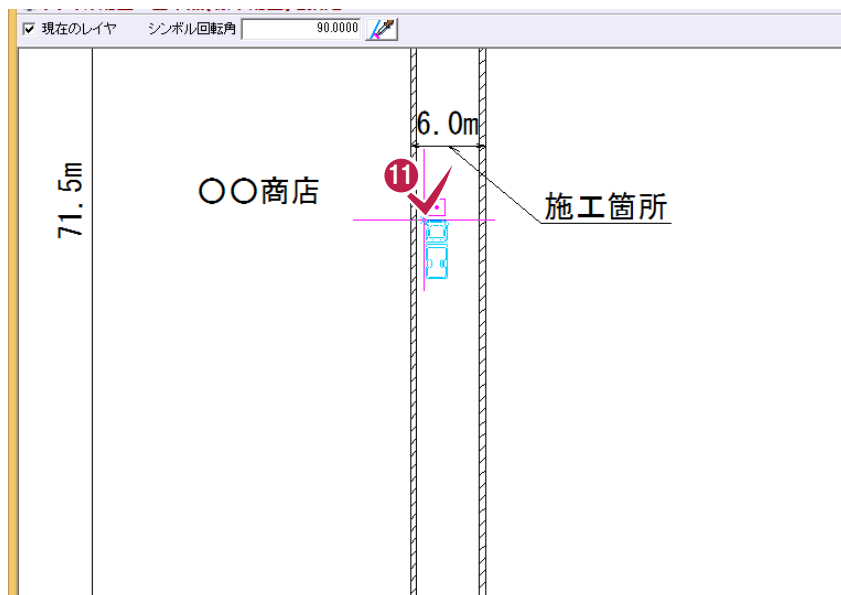
- 6 グループを選択します。
- 7 配置するシンボルを選択します。
- 8 〔配置〕をクリックします。



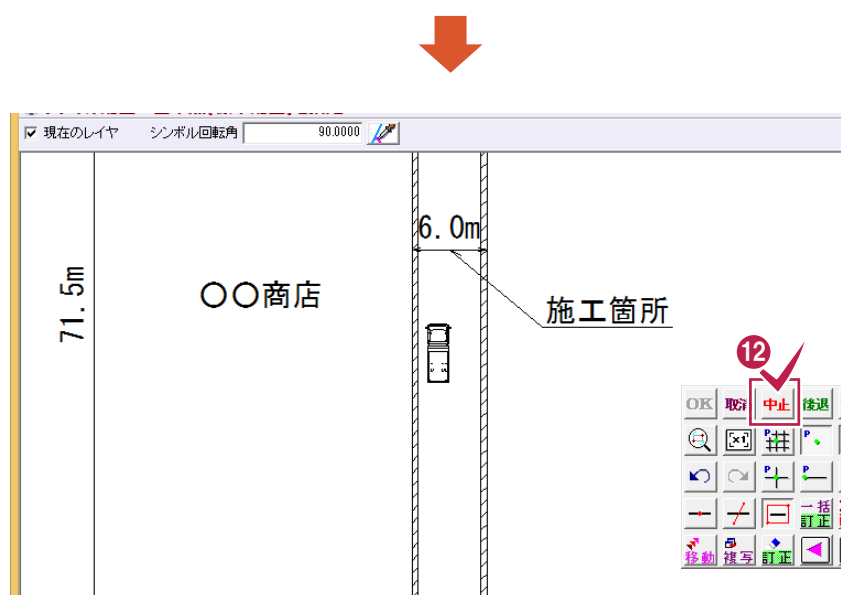
入力例では〔シンボル回転角〕に「90」、〔補正倍率〕に「0.1」と入力します。

- 9 〔倍率固定〕のチェックをオンにして、〔シンボル回転角〕〔補正倍率〕を入力します。
- 10 〔OK〕をクリックします。

〔倍率固定〕のチェックをオンにします。



11 配置位置をクリックします。

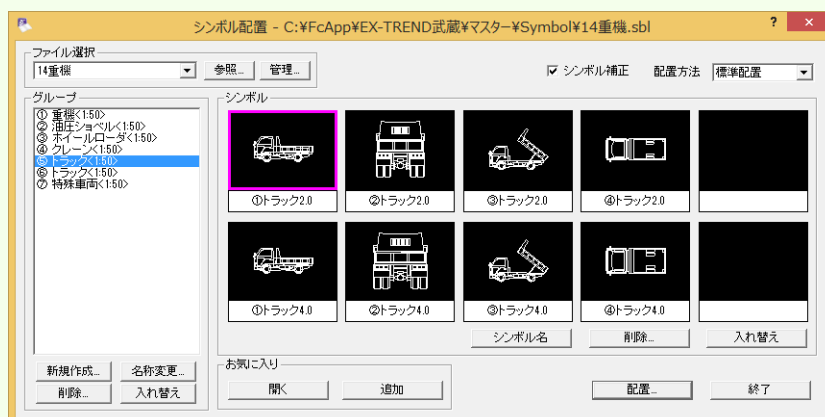


12 シンボルの配置を終了したら、右クリックして[中止]をクリックします。



続けて別のシンボルを配置する場合は

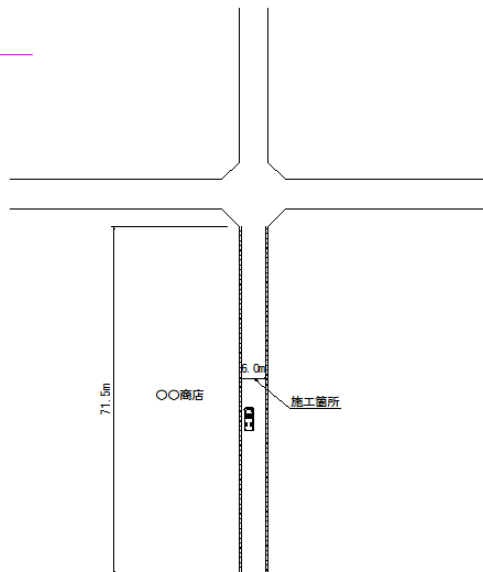
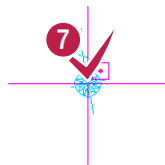
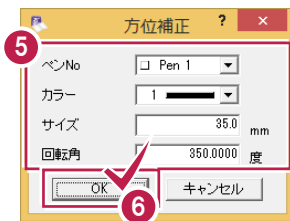
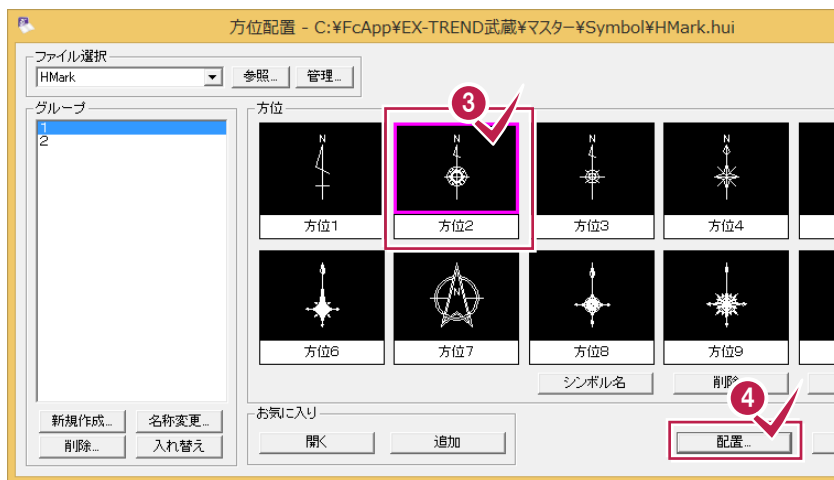
右クリックして[取消]をクリックすると、[シンボル配置]ダイアログへ戻りますので、続けてシンボルを配置することができます。



11

方位を入力する

〔土木〕―〔方位〕コマンドを使用して、方位を入力します。



1 〔土木〕をクリックします。

2 〔方位〕をクリックします。

3 方位マークを指定します。

4 〔配置〕をクリックします。

5 方位のサイズ、回転角などを設定します。

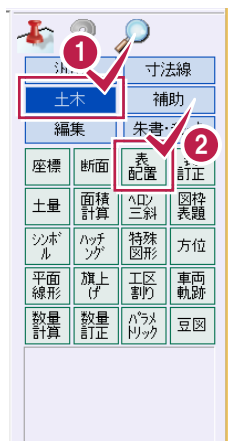
6 〔OK〕をクリックします。

7 方位の配置位置をクリックします。

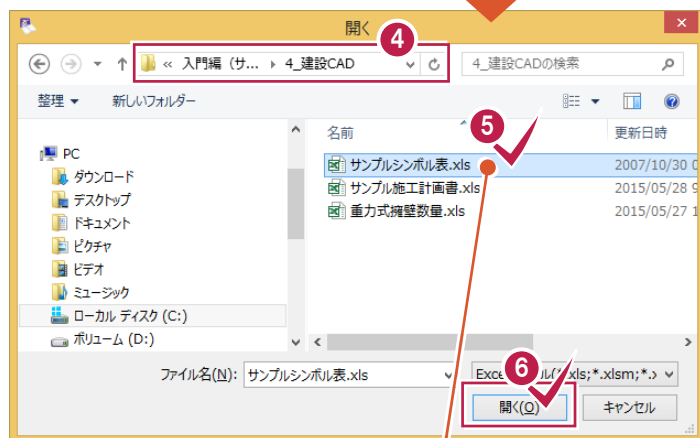
12

表を作成する

〔土木〕－〔表配置〕コマンドを使用して、EXCELで作成した表を取り込みます。

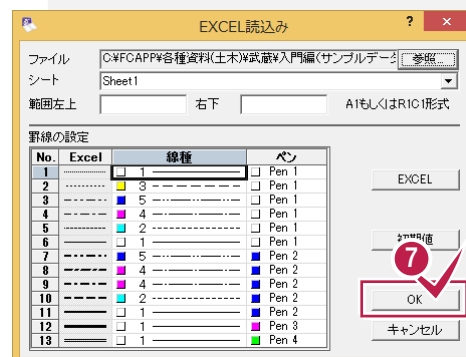


- ① 〔土木〕をクリックします。
- ② 〔表配置〕をクリックします。
- ③ 〔EXCEL〕の〔読み込み〕をクリックします。

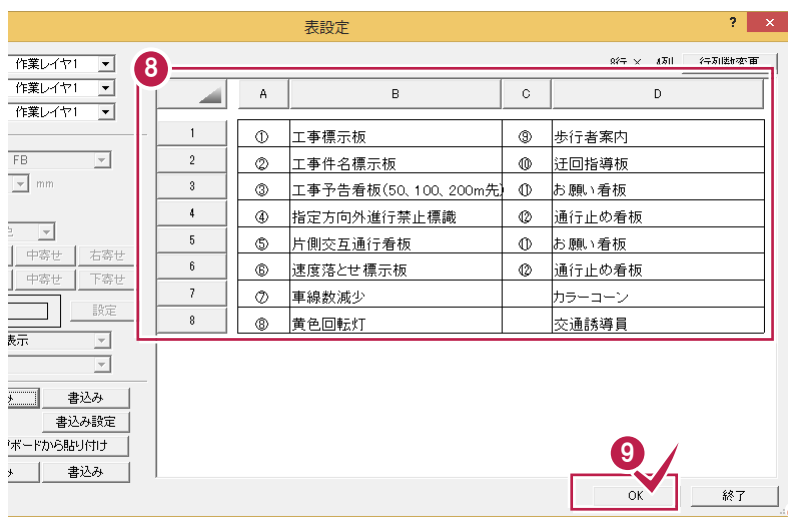


- ④ フォルダを選択します。
- ⑤ ファイルを選択します。
- ⑥ 〔開く〕をクリックします。

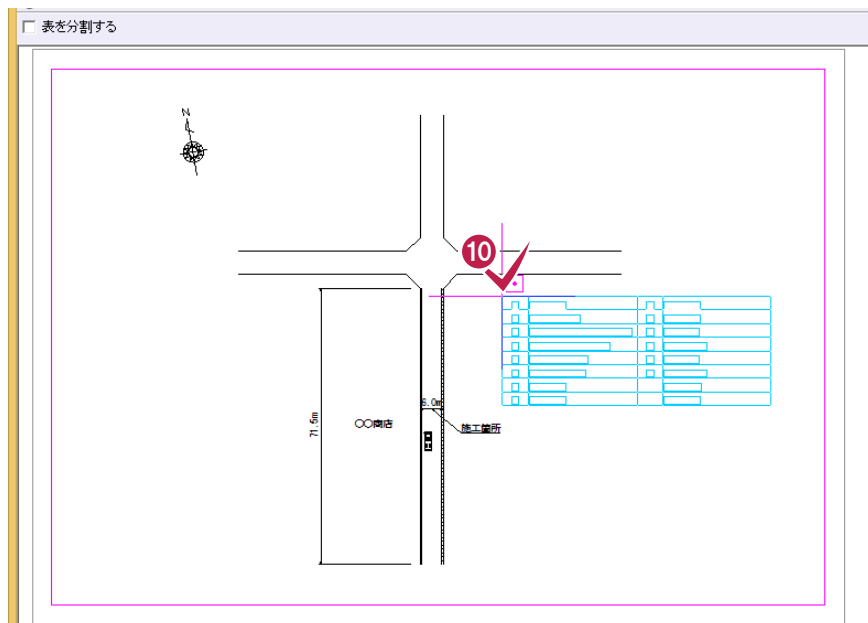
本書では「¥ FcApp ¥各種資料(土木)¥武蔵 ¥入門編(サンプルデータ)¥4_建設CAD」フォルダーの中の「サンプルシンボル表.xls」を選択します。



- ⑦ 読み込むシートなど各種設定を確認して、〔OK〕をクリックします。
- ⑧ 表の内容を確認します。
- ⑨ 〔OK〕をクリックします。



この位置でマウスをドラッグして、ダイアログを広げることができます。



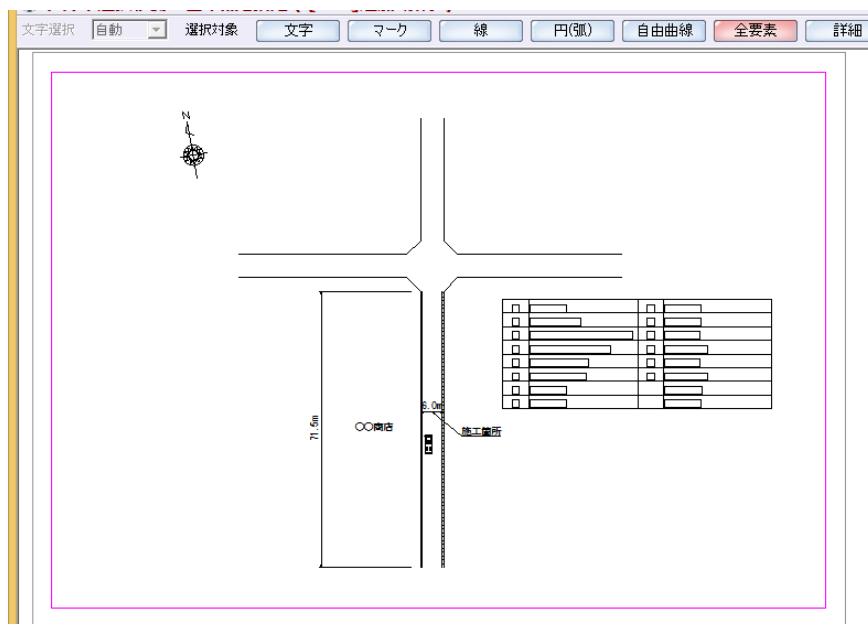
10 表の配置位置をクリックします。

読み込まれたEXCELの内容に準じた表がCADデータとして配置され、連続して表を配置できるように、再度[表設定]ダイアログへ戻ります。

入力例では、表配置処理を終了するので、[終了]をクリックします。



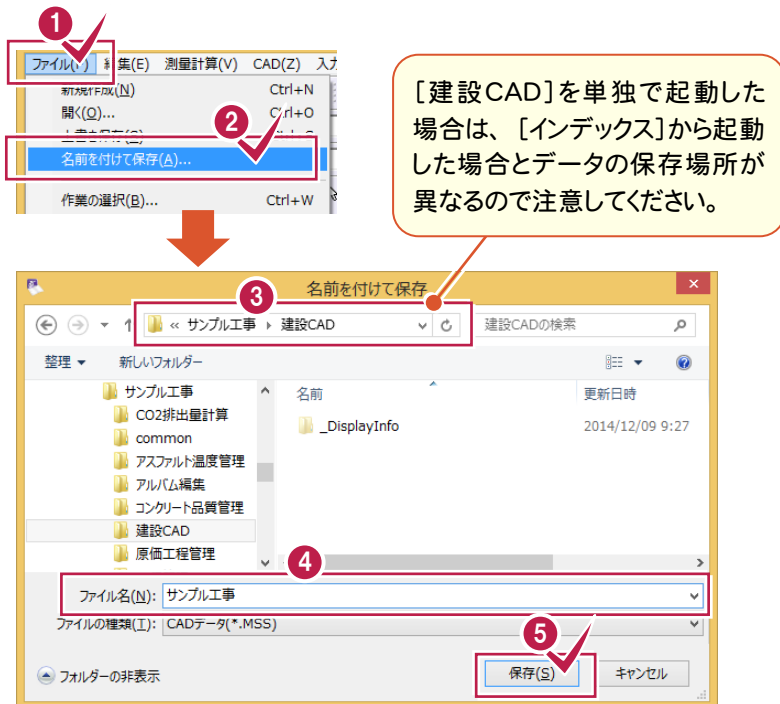
11 [終了]をクリックします。



13

図面を保存する

[ファイル]ー[名前を付けて保存]コマンドを使用して、図面を保存します。

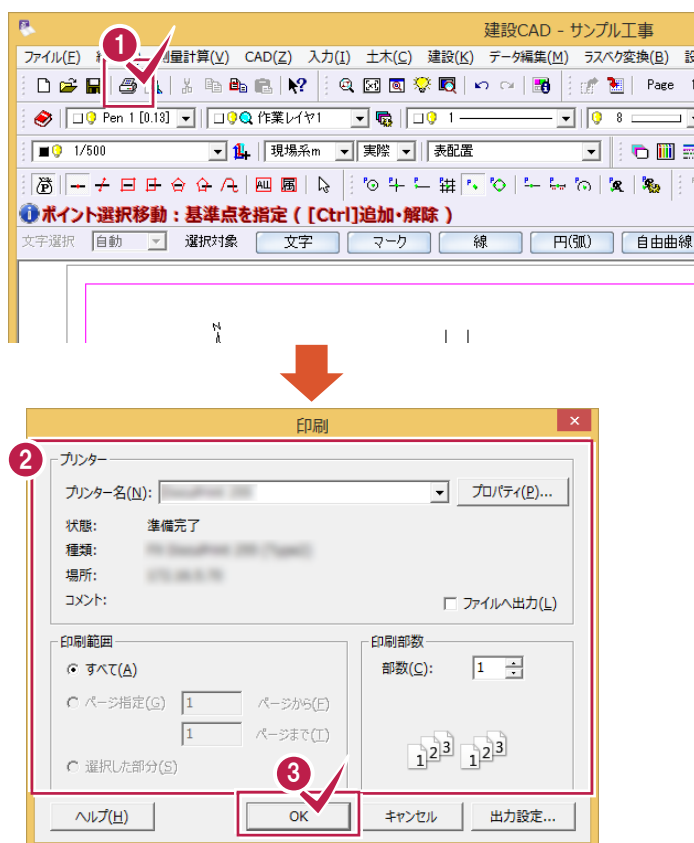


- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]をクリックします。
- 3 保存する場所を指定します。
- 4 ファイル名を入力します。
- 5 [保存]をクリックします。

14

図面を印刷する

[印刷]のアイコンを使用して、図面を印刷します。



- 1 [印刷]のアイコンをクリックします。
- 2 プリンター、印刷範囲、印刷部数などを設定します。
- 3 [OK]をクリックします。